

稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町 住民満足度調査 報告書

調査期間 2025年12月5日～2026年2月28日



きた・北海道DMO

1. 調査目的

きた・北海道DMOの継続的な事業として、住民の満足度および観光に対する意識調査を実施する。観光客の満足度向上やリピーター化に寄与する要素として、地域住民による「訪日外国人受入れへの理解」や「旅行者に対する地域の取組」が近年注目されている。域内の事業者や住民が主体的に観光客を迎え入れることで、**地域経済の活性化**を実現するマインドを醸成していくことが重要である。

本アンケートは、今後の機運醸成を検討するにあたり、稚内市、礼文町、利尻町、利尻富士町の1市3町の住民を対象として実施したものであり、その結果を今後の観光戦略・観光施策の基礎データとする。

2. 調査内容

- ① 地域満足
- ② 地域住民との関係
- ③ 居住地域へのコミットメント
- ④ 観光に対する考え方
- ⑤ 他者への受入意識

3. 調査方法

調査方法：インターネット調査(QRコードを読み取り、Googleフォームから回答・集計)

告知方法：日刊宗谷広告(2026年2月7日、2月21日掲載)
各連携自治体の広報誌(12月号)

調査期間：2025年12月5日～2026年2月28日

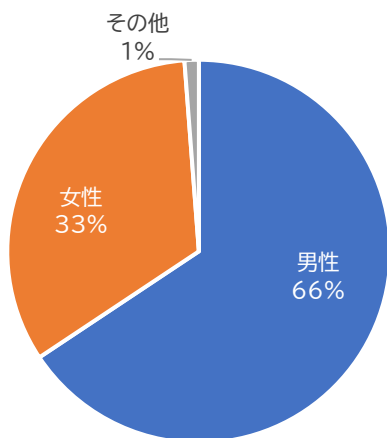
対象住民：稚内市、礼文町、利尻町、利尻富士町

調査主体：きた・北海道DMO

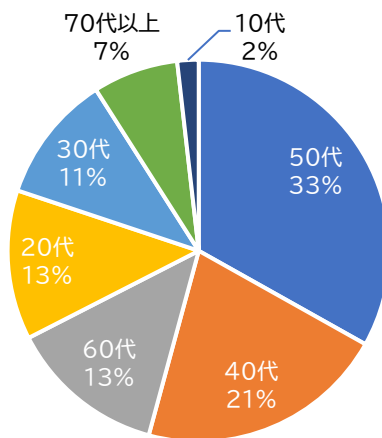
4. 回収結果

稚内市：	122件
礼文町：	13件
利尻町：	6件
利尻富士町：	25件
計：	166件

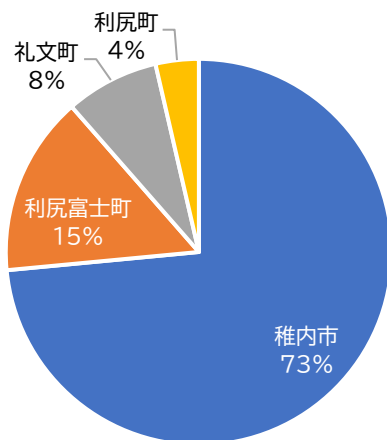
Q1 あなたの性別を教えてください。(n=166)



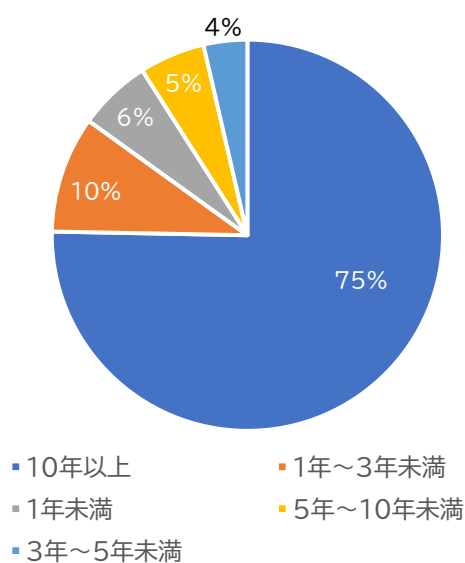
Q2 あなたの年齢をお聞かせください。(n=166)



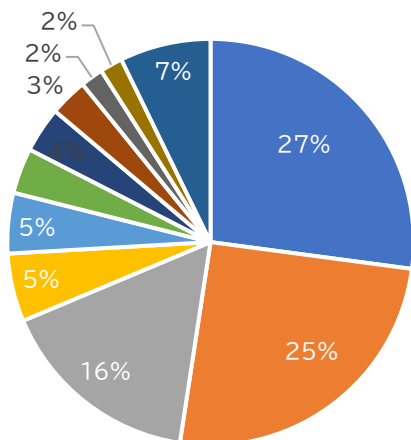
Q3 あなたの居住地をお聞かせください。(n=166)



Q4 地域での居住年数をお聞かせください。(n=166)

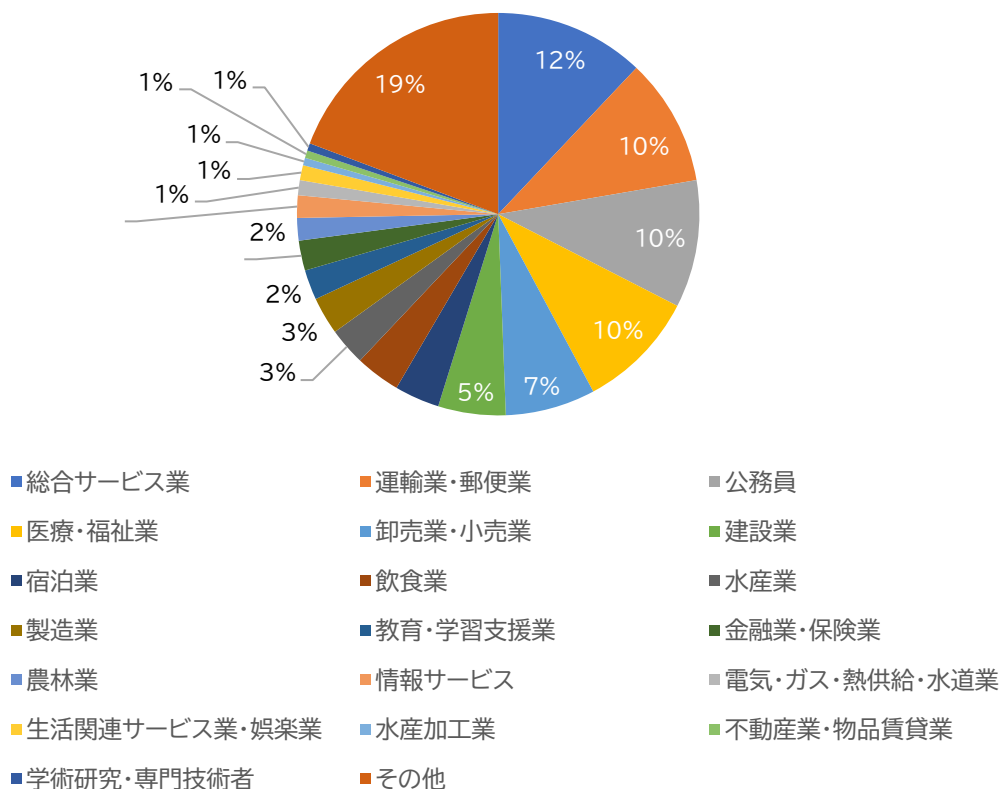


Q5 あなたの職業をお聞かせください。(n=166)

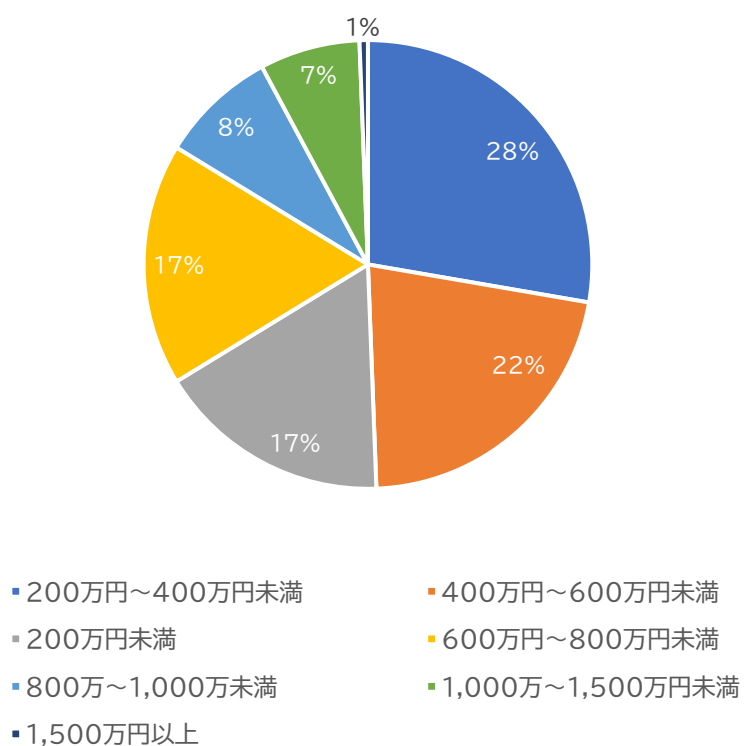


- 公務員(教職員除く)
- 会社員
- 経営者・役員
- パート・アルバイト
- 無職・定年退職
- 自営業・自由業
- 専業主婦・主夫
- 医療関係者
- 教職員
- 契約社員・派遣社員
- その他

Q6 あなたの職種をお聞かせください。(n=166)



Q7 あなたの年収をお聞かせください。(n=166)



(n=166)

		設問	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない
地域満足	Q8	この地域が好きである	51%	31%	9%	6%	2%
	Q9	ここでの生活に満足している	30%	38%	16%	13%	4%
	Q10	可能ならば、道内の別の地域に住みたい	19%	23%	22%	22%	14%
	Q11	可能ならば、道外に住みたい	9%	12%	16%	20%	42%
	Q12	この地域での生活に喜びを感じる	20%	45%	25%	7%	3%
	Q13	この地域に誇りを感じる	30%	40%	20%	4%	6%

地域住民との関係



(n=166)

		設問	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない
地域住民との関係	Q14	地域のコミュニケーションが良い	25%	33%	28%	9%	6%
	Q15	近所付き合いが多い	19%	34%	17%	17%	12%
	Q16	近所付き合いはうまくいっている	26%	40%	24%	4%	6%
	Q17	子供の成長に伴い、交友関係ができてきた	20%	28%	33%	5%	13%
	Q18	この地域には友人・知人がたくさん住んでいる	37%	29%	14%	13%	8%
	Q19	この地域には両親・親戚がたくさん住んでいる	22%	27%	11%	12%	29%
	Q20	住民同士が仲間意識を持っている	11%	34%	39%	10%	6%
	Q21	地域組織(青年団や婦人会など)が機能している	12%	38%	34%	8%	8%
	Q22	地域では近隣住民がお互いに助け合っている	20%	46%	20%	8%	5%
	Q23	この地域について住民が持っているイメージは同じであることが多い	8%	20%	55%	11%	6%

居住地域へのコミットメント



きた・北海道DMO



(n=166)

		設問	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない
居住地域への「コミットメント」	Q24	生涯にわたってこの地域に住み続けたい	15%	25%	29%	14%	17%
	Q25	自分の住んでいる地域のことを他地域の人と話すのは楽しい	28%	36%	25%	6%	6%
	Q26	この地域で起こった問題は、まるで自分自身の問題であるように感じる	21%	40%	22%	8%	9%
	Q27	私は他の地域に移り住んでも、その地域に簡単になじむ事ができると思う	15%	28%	39%	12%	5%
	Q28	この地域を家族のように感じている	12%	30%	30%	13%	14%
	Q29	自分の住んでいる地域に対してさほど愛着を感じていない	8%	7%	24%	33%	27%
	Q30	この地域で生活することは私個人にとって大きな意味を持つ	28%	33%	22%	10%	7%
	Q31	私は地域の一員であると感じている	24%	40%	20%	7%	8%
	Q32	たとえそうしたくとも、今すぐにこの地域から引っ越すのは難しい	52%	22%	11%	5%	9%
	Q33	今ここを引っ越すと、生活の維持が困難になるかもしれない	26%	24%	25%	11%	14%
	Q34	今この地域を離れても、経済的な損失はあまりない	17%	13%	33%	20%	17%
	Q35	私がここに住み続ける理由は、他の地域ではここで得られるだけの収入を確保するのが難しいからである	13%	20%	28%	20%	19%
	Q36	若者が、進学や就職のために育った地域を出ることは普通である	46%	33%	14%	7%	1%
	Q37	人は地域に対して愛着心を持つべきである	23%	33%	31%	8%	5%
	Q38	生活水準の向上を目指し、育った地域を離れていくことは素晴らしい	17%	28%	43%	9%	3%
	Q39	私がここで住み続けるのは、地域に愛着心を持つべきという考えのためである	4%	14%	27%	28%	28%
	Q40	例え転勤することがあったとしても、ただちにここを離れることはしないだろう（自営の場合は、他の地域で働かなければいけなくなっても）	11%	19%	29%	17%	23%
	Q41	私は一つの地域に対して忠誠心を持つ事の価値を教えられてきた	5%	13%	28%	18%	36%
	Q42	生涯を通じて同じ場所に住み続けることはよい事である	9%	19%	46%	13%	14%
	Q43	もはや一つの地域に住み続ける事が賢明とは思えない	17%	23%	45%	12%	3%

(n=166)

	設問	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない
観光に対する考え方	Q44 この地域において、観光事業は今後、経済的に大きな役割を果たす	55%	27%	8%	5%	4%
	Q45 観光関連事業の仕事は好ましいものである	37%	33%	22%	4%	4%
	Q46 この地域は観光施設を洗練させるべきである	48%	31%	17%	1%	3%
	Q47 観光事業はこの地域になくてはならない	69%	24%	4%	1%	2%
	Q48 観光客は大切である	64%	25%	8%	1%	1%
	Q49 この地域において観光事業は積極的に推進されるべきだ	61%	25%	11%	1%	2%
	Q50 この地域の観光事業に積極的に貢献したい	31%	37%	23%	5%	4%
	Q51 この地域において観光事業は生活水準を高める	35%	35%	23%	2%	4%
	Q52 観光事業により収入が増える	36%	25%	23%	7%	9%
	Q53 地域の観光事業が発展することにより就職口が増える	39%	40%	13%	4%	4%
	Q54 観光事業は地域の主な産業になってほしい	36%	38%	19%	4%	3%
	Q55 観光事業は環境に悪影響を及ぼしている	4%	16%	28%	31%	21%
	Q56 現在ある観光施設の騒音は度を越している	2%	2%	10%	35%	52%
	Q57 これ以上、屋外のレクリエーション施設は増えないでほしい	5%	3%	20%	29%	43%
	Q58 観光事業により地域の犯罪・治安悪化・観光客とのトラブルが増えた	2%	5%	24%	28%	40%
	Q59 観光客をひきつける新しい観光施設を設置することには反対である	3%	5%	17%	30%	45%
	Q60 観光事業により地域のごみが増えている	5%	20%	26%	24%	25%
	Q61 この地域はこれ以上観光客を増やすべきではない	1%	2%	19%	31%	47%
	Q62 この地域はもっと観光地化を推し進められるべきだ	36%	37%	20%	3%	4%
	Q63 観光事業のコスト(事業費)は国や自治体(税金)で負担すべきである	19%	25%	40%	12%	4%
	Q64 観光事業のコスト(事業費)は主体となる観光事業者が負担すべきである	9%	33%	45%	8%	5%
	Q65 観光事業のコスト(事業費)は来訪する観光客が負担すべきである	11%	32%	43%	8%	5%
	Q66 観光事業は町単位でおこなうべきである	12%	14%	37%	21%	15%
	Q67 観光事業は北宗谷地域全体でおこなうべきである	39%	36%	22%	1%	3%
	Q68 観光事業は地域の行政と観光協会だけでおこなうべきである	2%	4%	27%	45%	22%
	Q69 観光事業は専門家も交え、従来とは異なる手法でおこなうべきである	21%	34%	32%	8%	4%
	Q70 稚内・利尻・礼文エリアの観光振興に満足していますか？	3%	27%	42%	18%	10%

(n=166)

	設問	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない
他者への受入意識	Q71 私は、初対面の人と会話することが苦手である	16%	27%	22%	16%	19%
	Q72 この地域に新しく住む人にとって、この地域は溶け込みにくいところだと思う	13%	21%	31%	25%	10%
	Q73 見知らぬ人に対してはどうしても警戒心を抱いてしまう	13%	36%	25%	17%	9%
	Q74 私は、この地域に不慣れな人に世話をすることは苦にならず、役に立てれば嬉しいと思う	22%	40%	28%	7%	4%
	Q75 この地区の住人は、自治会や町の行事に、他地域から転居者が参加することに違和感を持つ傾向が強いと思う	6%	15%	37%	26%	16%
	Q76 自治会や町の行事に、他地域からの転居者が参加することを待ち望んでいると思う	18%	30%	39%	7%	6%
	Q77 観光客をはじめ、訪問者は「郷に入っては郷に従うべき」だと思う	23%	32%	32%	8%	5%
	Q78 転居者はこの地区のコミュニティ(自治会や隣近所付き合)には入りにくく感じているように思える	14%	32%	37%	15%	1%
	Q79 この地区には、転居者がコミュニティ(自治会や隣近所付き合)に入りやすいよう、援助する雰囲気があると思う	5%	18%	50%	18%	9%
	Q80 私自身は、この地区への転居者がコミュニティ(自治会や隣近所付き合)に入りやすいよう、援助したい	16%	35%	34%	8%	6%
	Q81 今後、外国人観光客の受け入れを積極的に行うべきだ	21%	27%	29%	15%	8%
	Q82 外国人観光客より日本人観光客の方がありがたい	36%	31%	28%	4%	2%
	Q83 外国人観光客との会話や対応は不安に感じる	34%	40%	14%	8%	4%
	Q84 外国人観光客受け入れに戸惑いを感じる	14%	27%	29%	20%	10%
	Q85 外国人観光客が困っていれば積極的に声をかけようと思う	17%	28%	33%	13%	10%
	Q86 外国人観光客は来ないでほしい	4%	8%	23%	28%	37%
	Q87 外国人観光客が増えると新たな課題も増えると思う	42%	43%	12%	2%	1%
	Q88 外国人観光客が増える事はよい事だと思う	27%	31%	32%	8%	2%



1. アンケート調査から

- ✓ 地域住民は北宗谷地域に愛着と誇りを持って生活し、地域内のコミュニケーションも比較的良好である。
- ✓ 転機が訪れれば、道内の生活しやすい場所へ転居することは仕方がないと考えている。
- ✓ 観光事業は地域経済に大きな役割を果たし、今後の観光振興は町単位より地域全体で推進すべきだと考えている。
- ✓ 観光産業が発展することで、地域の雇用が増え、生活が安定すると考えている。
- ✓ 観光振興策として、外国人観光客の来訪は歓迎する一方で、会話や対応、外国人観光客とのコミュニケーションに不安を持っている。
- ✓ 観光には期待しているが、その観光振興策やコストについては、意見を持ち合わせていない。

2. 次年度に向けて

- ✓ 1市3町の住民を対象としたアンケートの実施により、地域住民の地域への愛着や誇り、観光振興に対する考えを収集することができたが、昨年同様、一次産業に従事する方や地域の年配層、宿泊業からの回答が少ない。調査の依頼方法やWebアンケートへの回答補助を改善する必要がある。質問内容も再度検討し、簡潔な調査を実施する。
- ✓ 地域に生活する皆様の本音や要望も聞き取れるよう、質問内容を改善する。目標とする回答数を設定し、住民一人ひとりの関心につながる結果としたい。次年度は告知方法や告知期間、調査期間に改善の余地があり、より多くの回答数を確保したい。
- ✓ 引き続き、持続可能な観光地として発展するよう、DMOは住民アンケート・来訪者アンケートを経年的に実施し、観光課題を解決する取組を優先する。